

7-9 情報教育

・情報基盤センター (IT Center)

情報基盤センターは、本学におけるコンピューターを使った研究やネットワークを利用した学内外の通信が円滑に行われることを支援するために作られた、学内共同利用施設です。学内基幹ネットワークの維持・管理の他、学生に対する情報教育のための場や、機器も提供しています。皆さんは、コンピューター関連の授業や実習で、また、各研究室のコンピューター端末を通じて、情報基盤センターの設備を使うことになります。

■ 利用登録

本センターの設備を利用できるのは、本学の学生、研究生などです。利用にはお茶大アカウントが必要です。また、教育用システムのパソコンを利用する際は学生証を用いてユーザー認証が行われます。

■ コンピューターの利用

本センターでは、2014年3月に教育用システムのうち110台、2015年8月に84台のiMacを更新しました。この他にも学内に多くのコンピューターがあります。OSはMacOSとWindowsが利用可能です。下記教室の一部は講義優先ではありますが、空いている時間にはレポートの作成やEメール、インターネットの利用のために使用することができます。

- IT ルーム 1 (理学部 3 号館 6 階 601 教室)
- IT ルーム 2 (情報基盤センター1階 104 教室)
- IT ルーム 3 (理学部 2 号館 1 階 101 教室)
- IT ルーム 4 (理学部 2 号館 1 階 103 教室)
- 附属図書館ラーニング・コモンズ

学内には、利用者が自分のノートパソコンを使って自由にかつ安全にネットワークに接続することができるよう、認証ネットワーク(無線または有線)が設置されている場所がありますのでご活用ください。

本センターの各設備利用の詳細については「IT Center」サイトをご覧ください。

・パソコン活用サポートについて

本学では、情報リテラシー教育と情報スキルの向上に力を入れています。学部学科等の専門性によらず、各自の目的に応じて情報資源を活用するスキルを身につけることを目指します。それには、図書館内やIT教室など学内で自由に使えるコンピューターの活用はもちろんのこと、学生生活を通して活躍する自分専用のパソコン、学生本人が管理者となる「マイパソコン」を持つことを推奨しています。

このような学生のパソコン活用のサポートのため、随時パソコンやネットワーク等の相談をできる場が学内に用意されています。また、少人数のパソコン活用講習会も開講しています。特に、学部新入生は入学後すぐに開講される入門講習で、セキュリティ基礎をしっかり

と身につけていきます。

■ 附属図書館ラーニング・コモンズ

本学大学院生のライブラリ・アカデミック・ラーニング・アドバイザー（LALA）が相談を受けます。相談可能時間帯は、ラーニング・コモンズ内掲示板で確認してください。

- ラーニング・コモンズ内のプリンタで印刷したい
- マイパソコンを学内の無線・有線 LAN で利用したい
- 教室のパソコンの操作がわからない
- 学生ポータルサイトへのログインがわからない
- 文献検索の方法を知りたい

など、気軽に質問・相談してください。

■ 情報基盤センターパソコン相談担当

主に学部1年生を対象として、「マイパソコン」活用のサポートを行っています。「セキュリティ入門講習」では、自分が管理者権限を持つコンピューターを管理するにあたって、最低限身につけておくべきセキュリティの知識を解説します。

4月から5月にかけて開催され、学部1年生全員に受講を推奨しています。

学内でマイパソコンを使うためには、セキュリティ対策ソフトがインストールされていることが必須です。「セキュリティ入門講習」受講後、希望者は「セキュリティ対策ソフト・インストール支援」を受けることができます。

また、主に学部1年生の希望者を対象に、ノートパソコンの長期貸し出しを行っています。詳細は情報基盤センターホームページをご覧ください。